

## ラ・セレナ紹介文

三井物産 北嶋 勇也

チリ共和国でサンチャゴに次いで2番目に古い都市として知られるラ・セレナ(La Serena)は、文字通り「穏やかな」街であり、物騒な事件を殆ど耳にしない極めて治安の良い場所である。観光客の多くはコロニアル調の街並(Centro)及び長い海岸(Avenida del Mar)目当てに訪れる人が多い。街の中心地のみならず、ラ・セレナ近郊にはチリ人初のノーベル賞受賞者ガブリエラミストラル所縁の場所や、ピスコ生産が盛んな土地、及びチリ屈指の満点の星空が見られるツアー等が近年人気を呼んでいる。昔からラ・セレナとロスアンデスの中間点の独特な気候を生かしたパイアの生産が盛んであり、今でも町中の店(Comida Rapida)で多くのパイージュースを堪能することが可能。対岸に位置するコキンボ(Coquimbo)住民は同市民のことをパパジェロ(少し皮肉を込めて)と呼ぶことが、ラ・セレナの歴史と名産を物語っていると言えよう。

気候は「年間通して温暖」とは体内温度の高いチリ人の弁であり、我々日本人の肌感覚から言えば「夏以外は年間通してやや肌寒い」という表現が当てはまる。一日の気候の特徴は午前中に晴れることが殆どないが、昼を過ぎた辺りから嘘のように晴れ渡る独特の気候を見せることが多い。バカンスで来た際は午前中曇天気候であっても気落ちせずに、午後の劇的な気候変更を見越した予定を立て、夕方からビーチに繰り出すのが正解。夏の気温は日中約23~24℃、夜は15℃前後にてこれ以上快適な気候はないと言えるが、冬の最高気温は日中約12~13℃、夜は7~8℃である。海岸線特有の強い風と海岸の湿り気により冬は温度計の気温よりも体感気温は寒く、晩秋/冬/初春シーズンのラ・セレナ訪問はお薦めしない。

通常街の中心部から海岸沿い迄は程近い距離に位置している都市が多いが、ラセレナは少し様相が異なる。徒歩であれば海岸の起点となる場所の灯台(El faro)迄約30-40分程要し、更に海岸線をコキンボまで散策するとなると2時間以上必要である。従いセントロから海岸沿いへの移動はタクシーを使うことをお薦めする。尚、海岸沿いの道路(Avenida del Mar)は公共の交通機関の乗り入れが禁止されており、バスやコレクティーボは利用出来ない。タクシー自体も中々見つからないのでレストラン等で食事をした後にタクシーが必要な場合は流しを待つよりも店に依頼することが良いであろう。斯かる背景からレンタカーを利用すれば何れの煩わしさからも解放され、中心部及び近郊の双方を堪能出来るであろう。

1月～2月には全く別の都市であるかと思わせる程の観光客が押し掛け、海岸沿いの宿泊施設やレストラン及び駐車場はパンク状態となるのが恒例行事である。1月はアルゼンチン人が多数を占め(昨今の財政破綻危機により年々漸減傾向になる)、2月はサンティアゴを中心とした国内観光客がバカンスに訪れる姿が多く見られる。盛り上がる観光地を好む方はこのシーズンを狙うと良いだろう。但し、ラ・セレナ海岸線のホテル事情はバラエティに乏しく、特にリゾート気分を味わうことが目的であれば近年建設が急増しているコンドミニアムを利用することを進める。1-2月に人気のコンドミニアムを利用する場合は早い時期の予約が必要。サンチャゴ在住の方にとっては近隣に元祖海岸保養地ビーニャデルマルがある為に、より静かなプライベートビーチを望む方もいるだろう。ラ・セレナ近郊には、ラストカス(Las Tacas)やプエルトベレーロ(Puerto Velero)等、コンドミニアム保有者或はその利用者しか入れない完全プライベート空間が存在する。幾人かのサンチャゴの富裕層がラストカスにヘリコプターでバカンス入りする姿が見られるが、ラ・セレナから何れも約 20-30km 程南の地点にあり自家用車或はレンタカーにて到着するのが一般的。

ラ・セレナ海沿いの名物は、コキンボまで続くその「長い海岸そのもの」であると言われるが、もう一つの名物がその海岸を利用した「海岸乗馬」(夏期限定)である。当地の紹介でよく使用される「灯台」から北部に向かって海岸沿いを優雅に闊歩出来る。乗馬初心者であっても全く問題なく愉しめる上、値段も良心的であり1時間のコースからより長いコースまで幾つかの時間まで選択可能。灯台より北側は昔から波が荒く遊泳には不向きであり未開発地域であることも相俟って、その静謐な海岸沿いで乗馬するのは極上の体験である。

セントロ自体は特に見所があるわけではないが、サンチャゴに次いで二番目に設立された場所だけあって雰囲気は風情があるので散策するのが良いだろう(日曜日は大抵の店が閉まっているので注意)。かつてのスーパーマーケット的役割を果たした Rocova にはチリ料理を堪能出来るレストランと民芸品市場がある。しかし特筆すべきは2階部分に約 20店の理髪店が ところ狭しと並んでいる様であり、チリ国で最も競争の激しい理髪店マーケットであると言われているので一見の価値があるかもしれない。セントロから少し離れた場所に日本庭園「Parque Japones Kokoro No Niwa」なる場所が存在する。作りは比較的確りしており時間が許せばセントロ観光ついでに訪れてみるのも良いかもしれない。

星空ツアーは、市内各地からツアーが出ており片道1時間程かけて到着するのが一般的。ツアー自体は2時間程であるが開始時間が遅くかなり冷え込むので防寒着は必須。ツアーの内容は相当マニアックであるので天文学に興味のない方は退屈するかもしれない。従い

満点の星空を楽しむだけであれば、個人的にレンタカー等で天文台(Observatorio)まで行き、ツアー客とは離れて星空を心行くまで楽しむ方法が通の楽しみ方。これら地域は年間通して晴れが続くので極めて高い可能性で雲一つない星空を楽しむことが可能である。ラ・セレナからの往復は比較的時間を要し近隣にレストラン等がない為、美味しいコーヒー等を水筒で持参し、軽食を持っていくと良い。

#### [その他地域]

ビクーニャ(Vicuña)、バージェ・デ・エルキ(Valle de Elqui)へのピスコ工場見学や星空ツアー、南部に位置するラス・タカス(Las Tacas)、プエルト・ベレーロ(Puerto Velero)のプライベートビーチを堪能するのが、ラ・セレナ近郊を楽しむ一般的なものであるが、他の地域も記載する。

- ・ バジエナル(Vallenar)/バージェ・デ・サン・フェリックス(Valle de San Felix) : 当地域はラ・セレナから北 200km 地点に位置する小さな都市である。この地域の特筆すべき点は、シェリー酒(Pajarete)を堪能できる点であろう。チリ国で生産している地域は他に見られない為にシェリー酒好きは訪れる価値があるかもしれない。同地域には約 10 程の伝統的なシェリー酒工場が存在している。ピスコ生産も盛んであり、Horcon Quemado という工場は、樹齢 150 年の葡萄を使用し、屋外の空気で発酵させる伝統的な工法に拘っているユニークな工場である。オーナーに頼めば、特別なピスコを試飲させてくれるかもしれない。販売しているピスコで最もアンティークなものは 30 年物で\$300,000 である。
- ・ フライ・ホルへ国立公園(Parque Nacional Bosques de Fray Jorge) : ラ・セレナ南部のオバージェ(Ovalle)から程近い場所に位置する国立公園。サンティアゴ以北は基本的に乾燥し緑が少ない場所であるが、ここは何故か局地的に緑が見られる貴重な場所である。

#### [補足]

以下はラ・セレナ地域に於いて個人的に惹かれたレストランやカフェ等を紹介する。我々日本人は旅をする際の楽しみの重要ポイントとして食事が極めて大きな要素を占めると思い記載した次第。しかし極めて私見の混じった選定となっていることもあり、解釈及び訪問は読者自身の判断と責任に任せたい。紙面の都合上選定に限りがあるので、現地に到着してからパパジェロ達におススメの場所を伺う等して補って頂くことをお勧めする。

#### ■Cafetería Poisson : カフェ

木を基調とした落ち着いたカフェ。南北約 30km に奔る当地の海岸線を眺めながら半テラス席(海岸に突き出たつくり)でティータイムを楽しめる。特に夕日が沈む時間帯は真ん

前にそのシーンを捉えることが可能であるので訪れる価値有り。しかし、店名が **Poisson**(ポワソン: フランス語で「魚」を意味する)にも拘らず、魚料理とは無縁(**Reineta y Arrotz con Ensalada** のみ)のメニュー構成でありサンドイッチやハンバーガーを中心とした軽食であるので当カフェでは種類豊富なカフェやジュースのみにしておくのが無難であろう。当地はサーフィンスクールを併設しており、前後にサーフィンを愉しむことも可能(御多分に漏れず此処ラ・セレナの海も夏期であっても水温は低い)。

→住所: **Avenida del Mar#1001/La Serena** のシンボルである **Faro** から南約 300m に位置

#### ■**Tololo Beach**: シーフード料理

シーフードが堪能出来る小綺麗なレストランとして富裕層及び観光客に人気が高いが、料理自体は特筆すべきというレベルではない。しかしテラス席がビーチの中にあるつくりは独特であり優雅な気分が味わえる。**Tololo** 系列はラセレナにもう一つ存在し、**Tololo Beaf** という肉料理を中心に提供するレストランがある。本場所も海岸沿いに位置し洒落た作りであるが、肉料理の質自体では後述する **Martín Fierro** に軍配が上がる。

→住所: **Avenida del Mar#5150**

#### ■**Martín Fierro**: 肉料理

肉料理全般を提供する店であり店員は常に **Lomo** を薦めてくるが、**Cordero** も秀逸。足部分、あばら部分、ロース部分等がミックスされた羊のグリルが提供され、非常に美味である。

→住所: **Avenida Cuatro Esquinas con Avenida Pacifico**

#### ■(**Fuente de Soda**) **Oriente**: コンプレート

セントロ地域に位置するラ・セレナ名物のホットドック(コンプレート)専門店。平日は 1 日 1,500 食、週末及び繁忙期には 2,000 食の販売を誇る。パンの焼き具合及びマヨネーズソースが絶妙でありコンプレートに目がない方は是非訪問されたい。店内は 1 階と 2 階があるが、調理を観覧出来る 1 階のカウンター席が好位置。

住所: **Balmaceda 677**

#### ■**Daniela II**: チリ料理

庶民価格(昼食の **Menu** が \$3,000)のレストランであるが、観光客も多数訪れる隠れた名店である。メニューはスープとプラトフォンドの 2 品から構成されており前菜のスープはカスエラをお薦めする。フォンドは毎日メニューが変わるので店側の采配に任せるしかないが、何れの料理も外れがない。セントロ観光ついでに寄ると良いだろう。

住所: **Avenida Francisco de Aguirre 335**

■Café Colonial：チリ料理、多国籍料理

セントロ中心地に位置し、建物の中庭で食事やカフェが可能であるので天気の良い日に訪れるのが正解。レストランエリアの横に別の店であるがカフェエリアも存在するのでカフェのみの利用も可能。

→住所：Balmaceda 475

■AYAWASI：オーガニック料理

2013年6月に開店したラ・セレナ唯一の自然(有機)野菜を利用した店。欧米観光客に人気。

→住所：Pedro Pablo Muños 566

※この記事は、カマラ会報 234号（2014年5月発行）に掲載されました。